

令和2年度 長崎県高等学校新人体育大会卓球競技実施要項

- 1 主催 長崎県高等学校体育連盟・長崎県教育委員会・長崎県卓球連盟
- 2 後援 佐世保市卓球協会
- 3 主管 長崎県高等学校体育連盟卓球競技専門部
- 4 日時 令和2年11月 7日(土) 9時00分～学校対抗(開館 8:30)
8日(日) 9時30分～個人シングルス(開館 8:30)
- 5 会場 佐世保市東部スポーツ広場体育館
- 6 参加資格
 - (1) 参加者は長崎県高等学校体育連盟及び県連盟に加盟している生徒に限る。
 - (2) 年齢は平成14年4月2日以降に生まれた者とし、1・2年在学生徒に限る。
但し、同一学年での出場は1回限りとする。
 - (3) チームの編成において、全日制・定時制・通信制課程の生徒による混成は認めない。
 - (4) 転校6ヶ月未満の者は、参加を認めない。ただし、一家転住等によりやむを得ない場合は、県高体連会長の認可があればこの限りではない。
 - (5) 参加者は、予め健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
 - (6) 参加資格の特例による学校の参加については、長崎県高等学校新人体育大会開催基準要項の通りとする。
 - (7) その他は大会申し合わせ事項による。
- 7 参加申込
 - (1) 申込締切日 令和2年10月28日(水)
 - (2) 申込先 〒850-0991 長崎市末石町157-1
長崎県立長崎鶴洋高等学校 野口 隆 宛
 - (3) 申込方法 ① 参加申込書は締切日必着で郵送すること。
② ①の他に、エクセルの様式での申し込みファイルを作成し送信すること。(送信先:noguchi3081@news.ed.jp)
- 8 参加負担金 学校対抗 4,000円
個人 1名 500円
※大会初日11月7日(土)の受付時に団体・個人とも納入してください。
- 9 参加制限
 - (1) 学校対抗は男女とも全校出場できる。但し、各校1チーム。
 - (2) 今年度に限り、個人シングルスで男女とも32名の地区予選を通過した選手。
 - (3) 地区予選会に申し込みをしている離島地区の学校で、悪天候などの影響で公共交通機関がストップし、地区予選会の個人戦に出場できなかった場合、特別に各校シングルス1名の参加を認める。
- 10 競技方法 各種目ともトーナメントによる。
学校対抗では、ベスト8で敗れた学校により5～8位の順位決定戦(トーナメント)を行う。
 - (1) 学校対抗の選手は4～8名以内で、補欠は認めない。
 - (2) 学校対抗の勝敗は4～5名によるシングルス5試合(1試合5セットマッチで3ゲーム先取で決める)の3点先取で決する。ただし、1～4番の選手のうち1人が5番にも出場できる。尚、この実施方法は、今年度限りとする。
 - (3) 外国人留学生について
全国高体連卓球専門部内規(4)外国籍選手の大会出場制限による。

- (4) 学校対抗のシードについては、令和元年度県新人戦の結果（ベスト8まで）および10月の地区予選の結果（ベスト4まで）のポイントによりシードする。

11 競技種目 学校対抗 男・女 個人戦（シングルス） 男・女

12 競技規則

- (1) 現行の日本卓球ルールによる。
- ア. 選手は、(財)日本卓球協会発行のゼッケンに、選手名、都道府県名及び学校名を楷書で3段に書き背中につけること。
- イ. 個人戦のアドバイザーについては、参加申込書にエントリーした監督（1名）及び選手に限る。ただし、他のコートでアドバイスしていた場合には試合中にベンチに入ることができる。試合途中でコートを離れてもよいが、以後はそのコートに復帰できない。
- ウ. 監督は、学校長の認めた当該校の教職員及び外部指導者とする。（監督章をつける）
- (2) 学校対抗戦では、進行上、複数の台を使用することもある。
- (3) タイムアウト制の採用は試合進行に伴い連絡する。

13 使用球 (財)日本卓球協会公認の Nittaku 硬球（40mm）で白球（プラスチック球）とする。

14 表彰 学校対抗、個人とも3位まで。

15 組合せ 学校対抗・個人戦の組合せについては、専門委員で行う。

16 宿泊 各校、それぞれ独自で申し込むこと。

17 注意事項

- (1) 無観客での実施とし、会場には競技役員、選手、監督、学校長が認めた外部指導者、エントリー外の1・2年生の卓球部員のみ入場できる。
- (2) 体育館内ではプレー中の選手以外は必ずマスクを着用すること。試合中にもマスクを着用する選手は、マスクの色は白以外をつけることが望ましい。
- (3) 試合開始・終了時の握手はなしとする。
- (4) 応援は拍手のみで行い、大声を出さないこと。

18 その他

- (1) 本大会の成績で令和3年度高総体の学校対抗のシード校（ベスト8）を決定する。個人戦のシードについては、シングルスはベスト8までとする。ベスト32に入った24名はダブルスと同様、各学校の出場枠数に加算される。
(順位決定戦の学校対抗はベスト8まで行う)
- (2) 学校対抗の上位4校は九州新人大会（全国選抜大会九州地区予選）の出場権を得る。
- ※ 令和2年度全国選抜大会九州地区予選兼九州新人大会
期日と会場：令和2年12月18日～20日 於：別府市（別府アリーナ）
- ※ 令和2年度全国選抜卓球大会
期日と会場：令和3年3月25日～28日 於：三重県
学校対抗出場枠：九州大会の上位男8校・女7校
- ※ 個人戦シングルス代表は、男・女各1名を選抜大会予選会を行い決定する。
(令和2年12月28日(月) 諫早市小野体育館(予定))
(ただし、選抜大会への出場権を得た学校、県新人戦1、2位校からは出場できない。)
- (3) 会場や観覧席を汚さないよう、各校とも責任をもってゴミを持ち帰ること。
- (4) 長崎県高等学校新人体育大会（含む地区大会）卓球競技参加申込書に記載される生徒の個人情報について
利用目的 ・大会競技プログラムへの記載
・参加資格の確認
・競技成績に公表（学校名、氏名、学年、性別、成績（記録））